

観世音菩薩（観音さま）

観音菩薩(かんのんぼさつ)、梵名アヴァローキテーシュヴァラは、菩薩の一尊であり、特に日本において古代より広く信仰を集めている尊格である。「観世音菩薩」または「観自在菩薩」ともいう。「救世菩薩(くせぼさつ・ぐせぼさつ)」など多数の別名がある。一般的には「観音さま」とも呼ばれている。

当山の観音さまは1719年仙台の商人が大阪への旅で携帯した持佛であった。航海の途中、台風に巻き込まれ一命を取り留めたことは偏にこの観音さまのお陰であると信じ、1721年10月17日に当山に奉納された。以来10月には観音供養が執り行われていた。新本堂建設(昭和11年)に当たり、竹丸総代の寄進により観音堂が新調された。